

平成28年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	白砂
全体計画						経費区分	—			内線	3007	
事務事業名		4043 国際交流等事業										
所 属		050200 総務部・政策推進課										
施 策		07023800 多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進										
予 算		01 一般会計										
科 目		020109 総務費・総務管理費・企画費										
事 業		040000 国際交流等事業										
事業目的						事業概要・効果						
国際化の進展に伴い、友好都市との交流を深め、国際化に対応した人づくりを推進する。						平成6年度の中国吉林省四平市との国際友好都市の締結から21年経過し、親善交流事業として行っている友好訪問などは両市の友好と交流に寄与している。 また、様々な機会を通じ、国際交流の進展を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加	須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し				
算式					
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		0	1,550
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	1,550
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	720.8	720.8
	嘱託職員	541.0	541.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,261.8	1,261.8
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		1,261.8	2,811.8

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	180	謝礼
11節 需用費	313	消耗品費 食糧費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,057	旅費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	須坂市と友好都市締結がされている	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	昨年度は事業なし	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	最低限の費用で行っている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

27年度は総会等への参加のみ。
通常は予算計上されているのみで、事務負担はほとんどない。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
27年度は交流機会がなかったが、機会をとらえる中で国際交流の進展を図っていく。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
機会をとらえる中で国際交流の進展を図っていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	